

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成24年度事業)

| 事業の概要 | | | 根拠法令・規程等 |
|--------|----------|-------------------------|----------------------|
| 事業開始年度 | S46- | | |
| 総合計画 | 大項目 基本目標 | 04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり | |
| | 中項目 基本施策 | 03 個性あふれる観光のまちづくり | |
| 小項目 施策 | 01 観光 | | |
| 事務事業名 | 01 | 観光推進事業 | このシート作成に要した時間 3.0 時間 |

| 事業の目的 | |
|---------------------------|--|
| 対 象 (誰・何に対して) | 観光事業者、観光客 |
| 目 的 (何のために) | 観光案内サービスの向上、観光PR活動の推進により、市への来訪者数を増加させ、市の活性化を図る。また、観光動態調査については、県から委託受実施し、諸施策への指針として利用するため観光客の動向を調査する。 |
| 事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか) | 観光客数の増加 |

| 事業の実績 | | | 優先度 |
|-----------------|-----------------------------------|---|-----|
| 細事業名 | 事業の説明 | | |
| 目的を達成するため実施した事業 | 観光動態調査事業 | 毎年、観光客数の実地調査を市内4カ所(関谷学校、岡山県備前陶芸美術館、日生五味の市、八塔寺ふるさと村)で実施。 | |
| | 観光宣伝事業 | 教育旅行の誘致活動、各種媒体を利用した観光素材のPR、広告掲載等。 | |
| | 目的や地域グルメフェスタin備前事業 | 地域の食材を利用したご当地グルメや地域の農産物、特産品等の販売を行う27団体が出展し地域のPRを行ったほか、東日本大震災復興支援として大塚相馬焼・備前焼チャリティー展を行い、また、や備前焼のPRとして「るくる体験コーナー」「備前カレー・テーブルウェア展示」などを行った。 | |
| | フィルムコミッション事業 | テレビ、ドラマ、まち歩き旅の口ケの支援を行った。 | |
| | 観光写真掲出負担金事業 | 観光客や岡山駅地下道を訪れる人々へのPR、啓発のため、岡山駅地下道に観光コルトンを掲出。 | |
| 観光パンフレット等作成事業 | 今年度は備前市観光ガイドブック5万部を修正増刷。(1,752千円) | | |

| 事業費等 | | 単位 | 平成22年度実績 | 平成23年度実績 | 平成24年度実績 |
|---------|-----------|----|----------|----------|----------|
| 事業費 | 直接事業費 | 千円 | 722 | 4,793 | 7,318 |
| | 必要人員人件費 | 千円 | 0.55人 | 3,854 | 1.18人 |
| 決算額 | 事業費計 | 千円 | 4,576 | 14,625 | 25,924 |
| | 国県支出金 | 千円 | 176 | 3,476 | 176 |
| | 受益者負担 | | | | |
| | 繰入金 | | | | |
| | その他(一般財源) | | 4,400 | 11,149 | 25,748 |
| 受益者負担比率 | % | - | - | - | |

| 結果指標名 | | 単位 | 平成22年度実績 | 平成23年度実績 | 平成24年度実績 |
|-------|----------|----|------------------------------------|------------|------------|
| 結果指標 | 観光客数 | 説明 | 市調査による観光客数市内26カ所の観光施設への入場者数みよる観光客数 | | |
| | 結果指標量 | | 914,744 | 875,917 | 876,204 |
| | 対前年比 | % | 104.4% | 95.8% | 100.0% |
| | 活動コスト | 円 | 4,576,000 | 14,625,000 | 25,924,000 |
| | 単位当たりコスト | | 5 | 17 | 30 |

| 事業の成果 | | | | | |
|--------------------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 成果指標名 | 年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度目標値 |
| 観光客数 | 目標値(A) | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| | 実績値(B) | 914,744 | 875,917 | 876,204 | 到達目標値 |
| | 達成率(B/A) | 91.47% | 87.59% | 87.62% | 毎年度 |
| 成果指標設定の考え方・式や説明 | | | | | |
| 市内26カ所の観光施設への入場者数による観光客数 | | | | | |

| 事務事業の評価 | | 該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください > | Check |
|---------|--------------|--|--|
| 妥当性の評価 | 市の関与の妥当性の必要性 | 市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある | 妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い |
| | 市民ニーズ | 市民・団体等から要望・要請が強い | B |
| 効率性の評価 | コスト | 単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある | 効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い |
| | 目的達成度 | 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている | C |
| 有効性の評価 | 市民参画度 | 成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している | 有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い |

| 進行年度(H25年度)の改革改善内容 | | | | | | | |
|--------------------|---|------|-----|----|------|----|-------|
| 状況 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 | 廃止・完了 |
| 説明 | 各種メディアの媒体等を活用し、備前市の特産品、備前焼、旧関谷学校、日生諸島、八塔寺ふるさと村など市内観光資源を広くPRし、地域の活性化を図る。また、備前市を代表するご当地グルメ「日生カキゴロ」のB・1グランプリ出展を応援し、備前市を全国へPRする。教育旅行の誘致活動についても積極的に行う。 | | | | | | |

| 総合評価 | |
|--|---|
| 観光産業は市の基幹産業であり、市の活性化のためにも今後とも力を入れていく必要がある。 | 総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い |

| 平成26年度の方向性・取組目標 | | | | | | | |
|-----------------|--|------|-----|----|------|----|-------|
| 方向性 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 | 廃止・完了 |
| 取組目標 | 今後も観光PRの推進について、各メディアの活用や広域連携、インターネットの有効活用を努める。また、各種団体と連携を取りながら、市全域へ足を運んでくれるよう推進する。 | | | | | | |

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな